年度末報告書 (実行団体)

● 提 出 日 : 2022年 4月 19日

● 事 業 名 : みんなの海 project ~地域のすべての子に海での楽しい体験を~

● 資金分配団体 : 公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

● 実 行 団 体 : 認定 NPO 法人オーシャンファミリー

● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成(通常枠での追加助成)の有無 : ☑有 □無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗
					状況
					*
1. 本事業実施対象地域におい	海の自然体験に参加	地域全体で 70 人	2023 年 2	48 人	2
て、障害児等何らかの制約で機	した対象となる子ど	(年間延べ 200 人)	月	(年間延べ 239 人)	
会が限られてきた子達が海の自	もの数				
然体験に参加できる状態にな					
る。					
2.、障害児等何らかの制約で機会	海の自然体験につなが			26 人	2
が限られてきた子達が海の自然体	るオンラインや夏季以	₩₩ 人 ₩~10 ↓	2021 年 8		
験につながる活動プログラムに参	外の活動プログラムに	地域全体で 10 人	月		
加できる状態になる。	参加した子どもの数				

3. 障害児等何らかの制約で機会が限られてきた子達の保護者が海の自然体験の有効性を認識している状態になる。	海の自然体験に参加し た子の保護者の数	地域全体で 50 人 (年間延べ 200 人)	2023 年 2 月	96 人 (年間延べ 478 人)	1
4. 障害児等何らかの制約で機会が限られてきた子達と接する障害児施設等のスタッフが海の自然体験の有効性を認識している状態になる。	海の自然体験を見学し た障害児施設等のスタ ッフの数	地域全体で 100 人 (年間延べ 250 人)	2023 年 2 月	35 人 (年間延べ 90 人)	3
5. 学校や団体等が海の自然体験に連携・協力・支援する状態になる。	連携・協力・支援する学校・団体等の数	地域全体で10事業者 (初期値の2倍)	2023 年 2 月	11 事業者	2

*進捗状況:1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

S TORREST TORY S INT	
1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み	
2.概ね達成の見込み	
2.アウトカムの状況	
A:変更項目	
☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現	□短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値

3. 活動に関する報告

【通年スクール】

「ニッパーズ:水曜クラス」、「葉山キッズ school:金曜クラス」は長期休暇を除いて毎週活動を行った。「マリンキッズ:日曜クラス」、「ファミリー教室:土曜クラス」は毎月活動を行った。

【体験会】

■個人

個人の方を対象とした体験会を、7月と8月に計2回行った。昨年度から継続して参加してくれた子もいた。また、参加者のお姉さんがボランティアスタッフとして他の参加者のサポートをして頂いた。

■団体

「スタジオみらい」(放課後等児童デイサービス事業者)の利用者を対象とし、7月と8月に計3回の体験会を行った。また、事前にスタッフの方を対象とした研修会も行った。昨年度は3回目のみシーカヤックやSUPなどを利用したが、今年度は、3回全てで希望者は利用できるようにした。継続して参加している子達の上達度は、施設スタッフの方も驚くほどだった。

「ヒミツキチ」(オルタナティブスクール)の生徒を対象とし、9月と10月に計3回の体験会を行った。また、事前にスタッフの方を対象とした研修会も行った。台風のウネリで波遊びをし、足のつかない場所まで泳ぎスノーケリングで海中の生物観察を行うことができた。

「認定 NPO 法人カタリバ」と「神奈川県母子生活支援施設」の利用者の方を対象とし、1 月に森をフィールドとした自然体験会を行った。

【その他】

評価を委託している神奈川大学人間科学部の渡部かなえ教授による、当事業の保護者対象アンケートについて分析した論文が、APIAR 学会・OCMAR-2021 教育学分野の最優秀論文賞(Best Pape in Education)を受賞された。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

- ・当団体で主催する年間スクールを、オンラインで行った。
- ・連携、協力する学校や団体とオンラインにて打合せを行った。
- ・器材の数を増やし、通常よりも密にならないようシーカヤックの活動を行った。

・集合場所を室内でなく、屋外に変更して行った。
② 広報に関する報告
1. シンボルマークの使用状況
□自団体のウェブサイトで表示している □広報制作物に表示している
□報告書に表示している ☑イベント実施時に表示している □その他
→「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):
2. 広報
1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)
 特になし
2.広報制作物等
特になし
3.報告書等 3.報告書等
特になし
4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)
特になし
④規程類の整備に関する報告
1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了 □整備中

2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

□全て公開した □一部未公開 ☑未公開			
→「一部未公開」「未公開」を選択した場合 <i>0</i>)理由と公開予定日:公	:開する必要があると認識	我していなかったため。2022 年 5 月。
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報	 選告しましたか。		
□はい	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
→「いいえ」を選択した場合の理由:変更な	L		
⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告			
	一目似とわていません		
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに	に開催されていますか。		
☑はい □いいえ			
→「いいえ」を選択した場合の理由:			
2. 内部通報制度は整備されていますか。			
図はい 口いいえ			
→ 「はい」の場合の設置方法(複数選択可):	∶┏内部に窓口を設置	□外部に窓□を設置	□ JANPIA の窓口を利用
			_ 5/ / //5/ / € 3///5
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行って	 ていますか。		
図はい 口いいえ			
→ 「いいえ を選択した場合の理由:			
4 関連士を担任の中央におり様担の関土に、マル	+ + 4,		
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行ってい	ま g 刀՝		
☑はい □いいえ			
→「いいえ」を選択した場合の理由:			

- 5. コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
 - ☑はい □いいえ
 - →「いいえ」を選択した場合の理由:
- 6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
 - ☑内部監査を実施 □外部監査を実施 □実施する予定がない
 - →「実施する予定がない」を選択した場合の理由:

添付資料

活動の写真(画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度)







